

第8回「農業を考える委員会」開催される

2月12日（水）、ホテル青森を会場に第8回「農業を考える委員会」が開催されました。会員37名が参加、演題を「気候変動と農業・漁業」と題し、桃の生産に取り組んでいるりんご農家の成田啓輔氏と八戸市農林水産部水産事務所で養殖業の実務を担っている千葉晃弘氏をお招きしご講演をいただきました。温暖化の影響が避けられないこれからの農業・漁業のあり方について考えました。



(1) 講演会Ⅰ「温暖化での果樹栽培（桃生産）」

講師 成田啓輔氏（りんご・桃生産者、青森県農協青年部協議会顧問）

台風や夏の高温などの気象変動による果樹栽培の影響は免れない。リスクを分散させるため、りんごに加え桃の栽培に取り組んでいる。これからはりんごとらわれない複合経営が必要で、青森県をフルーツ王国にしたいとのお話でした。



(2) 講演会Ⅱ「陸上養殖ビジネスモデル構築に向けた取組について」

講師 千葉晃弘氏（八戸市農林水産部水産事務所調査研究グループ主幹）

今年から本格的に始まるヒラメやマツカワガレイの陸上養殖事業について紹介。天然ものと違って数量、価格、品質が一定で安定的に生産できるなど陸上養殖の利点をお話されました。

